



スローガンは 「必笑」



今シーズンの野球部メンバー

～試合で笑って 練習で泣く～

待ちに待った高校野球シーズンの到来だ。星槎国際高等学校湘南学習センター1硬式野球部は、3月25日からの春季大会地区予選(平成29年度春季神奈川大会地区予選)に挑む。西湘地区予選では、強豪立花学園、足柄高校と同じCブロック。ブロック1位になれば県大会出場となる。2位の場合は、Dブロック2位のチームとの代表決定戦を行う。試合は、3月26日立花戦、27日足柄戦。ともに、立花学園グラウンドにて10時から行われる。

地区予選に向けて野球部は、3月11日から練習試合を9試合行った。3月15日には、東海大相模

と対戦。4対3で勝利した。プロ野球からも注目されている本田仁海投手は、5回を投げ、2安打3奪三振無失点。本田投手は、昨年の最速142kmよりもさらに球速が増し、「きれいなスピンがかかっていて低めの速球は伸びている」と塩谷貴男部長も目を細める。選手たちはこのシーズンオフに筋力や体幹だけでなく、砂浜での走り込み、食生活改善にわたるトレーニングを積んだ。

「この選手も打球の速さが増した(木村彰浩コーチ)という通り、どの選手も下半身が大きくなった。成長した選手たちが笑顔の戦いを見せる。

会でベンチ入りしたい。杉田健輔くん
全力プレーでベストを尽くす。
田島大輔くん
甲子園に出場できるようなチームに貢献したい。
辻航大くん
去年の結果、ベスト8を超えたい。
本田仁海くん
勝てる投手になり、1試合でも多く勝ち進みたい。
松井俊くん
夏の大会のメンバーになれるよう頑張る。
三浦康太くん
マネージャー
みんなのために力を尽くし、チームを支えたい。
宮木勇治くん
感謝の気持ちを持ってプレーしたい。
村岡優希くん
悔いのないように精一杯頑張りたい。
吉村正彦くん
最初最後の神奈川での高校野球、一生残る思い出にする。

掴み取りたい。
園田翔吾くん
ベンチ入りし、チームに貢献したい。
竹尾竜太郎くん
スタメンで試合に出場し、チームに貢献したい。
千葉涉くん
これまで以上に努力し、ベンチに入る。
藤澤大輔くん
日々の努力を継続し、大会に向けて頑張る。
松下壮悟くん
副キャプテン
信頼され、流れを変えることができる打者になる。
門間京太くん
守備でのミスをなくす。

【新入生】
飯田旭くん
信頼されるピッチャーになれるよう頑張る。
飯田光くん
大好きな野球を三年間悔いのないように。
石井竜馬くん
野球部の中心的な選手になる。
石綿唯人くん
明るく元気を出し、長所を育て、短所を減らす努力をしたい。
一柳大地くん
スタメンに入るため、しっかりと練習する。
伊藤大河くん
1試合でも多く、試合に出られるよう頑張る。
今井亮輔くん
レギュラーになれるよう練習を頑張る。
大門海陸くん
長所は伸ばし、短所は改め、ベンチ入りする。
小室樹くん
毎朝、素振りを徹底して行う。
坂本直弥くん
周りへの目配り気配りを心がけ、人としても成長したい。
佐野遼太くん
練習を頑張る、結果を残せるようになりたい。

塩沢大翔くん
毎日素振りし、試合で結果を残したい。
塩野幹太くん
努力し、結果にこだわりたい。
代田勝大くん
過程も大切に、結果を残す。
新藤礼雄くん
チームに必要とされる人になる。
関大地くん
ベンチ入りできるように努力する。
田岡大征くん
チームにとって役に立つ選手になる。
高橋小次郎くん
捕手として周りへの気配りをする。
中澤夏勇くん
声を出し、誰にも負けない気持ちで頑張る。
中原蓮くん
寮生活でも練習でも皆に認められるように。
野村忠克くん
誰よりも努力し、人としてだけではなく心身共に成長したい。
野呂春陽くん
努力の成果を試合で結果として残したい。
花森咲斗くん
体作りをし、投打で活躍したい。
半田翔太郎くん
ベンチ入りを目指し、意識を高く持つ。
松本更久くん
チーム貢献できるように努力する。
三浦友詩くん
自分の言葉を裏切らないようにする。
茂木良太郎くん
長所は伸ばし、短所はなくしたい。
森隼哉くん
走攻守の全てで成長できるようにしたい。
矢崎修太くん
試合に出場できるように自主トレを頑張る。

VOICE

土屋恵三郎監督

春季大会は「必笑」のスローガンのもとで戦う。西湘地区は全体のレベルが高い。まずは、立花という強豪にしっかりと選手全員がスクラムを組んで戦いたい。地区大会を乗り切ることが第一目標。今年度は野球部も60名を超える大所帯になった。野球部が一つとなって挑んでいく。投手陣は充実している。本田や他の選手も成長している。攻撃は、松下を中心に「つなぐ」バuntingを心がけていきたい。また機動力を使っ

選手に聞く

今シーズンの目標

【3年】

東俊次くん

今までの成果を全て出し切り、完全燃焼する。
有賀誠太くん
副キャプテン
走攻守そろった選手になれるよう元気を出していく。

岡野豪くん

悔いのないように全力で頑張る。
大城優斗くん
全員野球で神奈川の頂点に立ちたい。

金子幹太くん

キャプテン
神奈川の頂点に立ち、神奈川の主将となる。
小林大介くん
アンダースローでバッターを打ちとる。

櫻木翔太くん

夏の大会で背番号2をつけたい。
佐野和磨くん
悔いの残らないよう、あきらめず頑張る。

三瓶海斗くん

守備で活躍し、夏の大会でベンチ入りしたい。
杉田健輔くん
全力プレーでベストを尽くす。
田島大輔くん
甲子園に出場できるようなチームに貢献したい。
辻航大くん
去年の結果、ベスト8を超えたい。
本田仁海くん
勝てる投手になり、1試合でも多く勝ち進みたい。
松井俊くん
夏の大会のメンバーになれるよう頑張る。
三浦康太くん
マネージャー
みんなのために力を尽くし、チームを支えたい。
宮木勇治くん
感謝の気持ちを持ってプレーしたい。
村岡優希くん
悔いのないように精一杯頑張りたい。
吉村正彦くん
最初最後の神奈川での高校野球、一生残る思い出にする。

【2年】

石川直人くん

必笑野球で、県大会優勝を目指す。
石橋颯太くん
人としても、選手としても成長したい。
梅垣美輝くん
チームから必要とされるよう頑張る。

小倉健太郎くん

トップバッターとして出塁し、足でかき回していきたい。
小澤祐真くん
チームトップの打率を残せるよう頑張る。

神尾凌成くん

活躍し、不動のレギュラーになる。
神成健市朗くん
責任感のある行動を目標に頑張る。

佐藤翔摩くん

夏の大会で背番号2を掴み取りたい。
園田翔吾くん
ベンチ入りし、チームに貢献したい。
竹尾竜太郎くん
スタメンで試合に出場し、チームに貢献したい。
千葉涉くん
これまで以上に努力し、ベンチに入る。
藤澤大輔くん
日々の努力を継続し、大会に向けて頑張る。
松下壮悟くん
副キャプテン
信頼され、流れを変えることができる打者になる。
門間京太くん
守備でのミスをなくす。

未来に向けて スポーツを超え

ブータン王国 と事前キャンプ 協定

2月16日、星槎グループ会長の宮澤保夫氏がブータン王国を訪問し、2020年東京オリンピック・パラ



仮協定締結式での宮澤保夫会長とBOC会長のジゲル・ウゲン・ワンチュク王子殿下

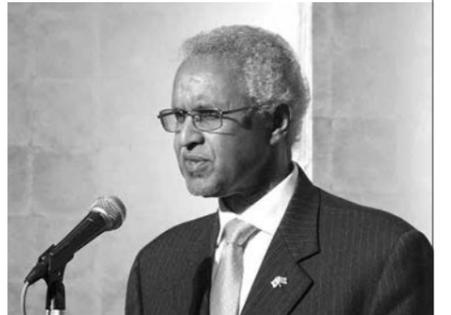
リンピックの事前キャンプを神奈川県内で行う仮協定を結んだ。宮澤氏は、ブータンオリンピック委員会

長とともに、昨年5月に来日。BOC事務局長は、12月にも来日し、小田原市、大磯町、箱根町等の施

(BOC)会長のジゲル・ウゲン・ワンチュク王子殿下と面会、仮協定締結となった。今月、ジゲル・ウゲン・ワンチュク王子殿下が来日し、本協定の調印が行われる予定。ジゲル・ウゲン・ワンチュク王子殿下はBOC事務局長として、昨年5月に来日。BOC事務局長は、12月にも来日し、小田原市、大磯町、箱根町等の施設を視察している。星槎が関わる事前キャンプ協定締結は、エリトリアに次いで2か国目。星槎では、これらの国の選手団へのサポートとともに、日本の子どもたちがトップアスリートの練習風景や試合を見ることにより、感動や多くのことを学ぶ機会の創出を視野に入れている。

エリトリア国 ゼメデ長官 来日

2月、エリトリア国文化スポーツ庁のゼメデ・テクレ長官が来日した。エリ



レセプションパーティーでスピーチするゼメデ長官

トリア国と星槎グループ、神奈川県、小田原市、大磯町、箱根町は、2015年9月に2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプに関する協定を締結している。ゼメデ長官は、岸田外務

大臣、丸川東京オリンピック担当大臣、黒岩神奈川県知事、日本オリンピック委員本等も表敬訪問された。2月23日には、東京都内でエリトリア主催のレセプションパーティーが開かれ、エリトリアのエステイファンズ駐日大使、アフリカ諸国の駐日大使、日本の外務省関係者、神奈川県、小田原市、箱根町、大磯町、二宮町の首長・



記念品を手にする宮澤会長とゼメデ長官

職員等も出席した。パーティーでは、ゼメデ長官から宮澤会長へ、同国へのこれまでのサポートの感謝のしるしとして

記念品が贈呈された。エリトリア国から星槎への留学生、デジェン・テスファレム・ウエルドゥくん、アヌール・モハメド・

アタクンもゼメデ長官をはじめとして、多くのエリトリア国関係者、アフリカ諸国の方々と交流の時間を持った。

星槎オリンピックピック 駅伝部門 開催

3月17日、星槎大磯キャンパスで星槎オリンピック駅伝部門が開催された。エントリーした各校は全部で11校舎。総走行距離は16km・全6区間を6人1チームで走り、合計タイムを競う。また4区のリレー間は男女どちらかの参加だけでなく、教員も参加可能である。今大会より、各校舎を結成されたアスリート部門

と、エリトリアの留学生アヌール・モハメド・アタクンをはじめとする湘南学習センター在籍の生徒で結成されたプロフェッショナル部門に分かれており、より高度な技術を必要とする大会になっている。星槎道都大学の陸上部も、陸上競技専攻チームで参加。また、今大会初出場の浦和高等学園北斗校Bチームにエントリーしている北斗校中学

生の走りにも注目だ。スタートの合図が鳴ると一斉に前へと走り出す。いきなり先頭に出る生徒。自分のペースを守りながら着実に前へ走る生徒。この星槎オリンピック駅伝部門の見所は走る速さだけではない。それぞれ自分のベストを尽くすこと、たすきをチーム全員で繋ぐこと、誰かに応援される喜び、応援する気持ちになることが重要である。

1区はやはりプロフェッショナル部門の速さが目立つ。男子サッカー専攻がトップでタスキを渡し、続いて陸上競技専攻、硬式野球専攻と続く。一方アスリート部門では1区で、厚木チームの依田尚人くんが2位のポトサイド校と1分差をつけて2区へたすきを渡した。その後、ポトサイドチーム、北斗校Aチームは5区まで競り合いを続けた。見せ場

を作ったのは、八王子チーム深山晃太郎くん、村上陽南さんの2年生コンビ。2人続けて区間賞をとった。4区では、厚木チームの橋本竜希くん(在籍は北斗校)が区間賞の走りを見せ、1位のポトサイドチームに並び、結局ポトサイドチームは、3区から一度も1位の座を明け渡すことなく優勝。2位はわずか26秒差で厚木チーム。最終6区で、立川チーム、鴨居チームを抜き去った八王子チームが3位に入った。6区では、北斗校中等部の金田

樹くん(北斗校Bチーム)が区間賞をとった。プロフェッショナル部門は、陸上競技専攻が1位。タイムは51分44秒で、アスリート部門1位のポトサイド校より約17分速かった。3.5kmの最速は陸上競技専攻の大塚光司くん(2年)で、アスリート部門最速の依田くんより1分速く、日頃の成果を見せた。(編集部 中村舞)

浦和高等学園 澤海 瑠奈さん(1年) 沿道で応援してくれた方がたくさんいて嬉しかった。また来年も挑戦したい。ポトサイド校 外岡 里沙子さん(2年) 自分が思っていた走りは出来なかったが、チームが優勝して嬉しい。来年もまた参加したい。

星槎オリンピック駅伝部門 結果

※○数字は学年 校舎名は略称

◆ アスリート部門

- 1位 ポートサイド 1時間8分7秒
- 2位 厚木 1時間8分33秒
- 3位 八王子 1時間9分13秒
- 4位 北斗Aチーム 1時間9分52秒
- 5位 北斗Bチーム 1時間10分17秒
- 6位 鴨居 1時間10分53秒
- 7位 湘南校 1時間11分29秒
- 8位 立川 1時間11分59秒
- 9位 星槎高校 1時間25分55秒
- 10位 合同チーム(大宮、浦和、立川) 1時間26分20秒

◆ 区間賞

- 1区: 3.5km(男子のみ) 依田 尚人③(厚木) 12分22秒
- 2区: 3.5km(男子のみ) 深山 晃太郎②(八王子) 13分51秒
- 3区: 1.0km(女子のみ) 村上 陽南②(八王子) 4分10秒
- 4区: 1.0km(男女どちらでも可) 橋本 竜希①(北斗) 3分52秒
- 5区: 3.5km(男子のみ) 鈴木 光 ②(湘南校) 12分57秒
- 6区: 3.5km(男子のみ) 金田 樹 ②(北斗高等部) 13分23秒

◆ 特別賞

- 鳥潟 寛気①(星槎高校)
- 山田 優喜③(湘南校)
- 藤岡 稔 ③(北斗Aチーム)
- 原田 龍希②(鴨居)
- 神山 歩夢①(立川)

◆ プロフェッショナル部門

- 1位 陸上競技専攻 51分44秒
- 2位 男子サッカー専攻 55分55秒
- 3位 硬式野球専攻 1時間3分11秒

◆ 参加校舎

- 星槎高校
- 星槎学園 北斗校、湘南校、大宮校、横浜ポートサイド校
- 星槎国際高校 立川学習センター、厚木学習センター、八王子学習センター、湘南学習センター、横浜鴨居学習センター
- 浦和高等学園



優勝したポートサイドのメンバー

生徒が成長する バレー部を



星槎オリンピック駅伝部門にて澤海瑠奈さん(2年)と羽原先生

浦和高等学園は「友だちができる学校」。羽原悠紀教諭は、「生徒と教職員が一体となって、学校全体で行事を作っている。その中で、生徒たちは人間性や社会性を高めていく所が浦和高等学園の良いところ」と話す。そんな羽原教諭は、高校は北海道の強豪校出身で、春高バレーやインターハイにも出場。大学では関東大学バレーボールリーグで活躍。ベストセッター賞

や敢闘賞も受賞している。現在も、クラブチームでプレーする現役選手。羽原教諭の目標は、バレー部を作り、生徒たちみんなが体を動かし、仲間を作る。そして、勝つ喜びだけでなく、負ける悔しさも知ってもらうこと。セッターとして鍛えた分析力で、生徒の心をつかみ、活気あふれる部となるだろう。バレー部が星槎オリンピックで活躍することを期待したい。

星槎のFM放送局 FM湘南マジックウェイブ 85.6MHz

4月23日(日)正午(よ)よ本放送開始!!

にあり、現在開局にむけて研修と番組制作を行っている。集まったスタッフは、星槎学園湘南校の生徒をはじめ文教大学・東海大学・関東学院大学・慶応大学・東京工科大学・多摩美術大学・フェリス学院大学の学生30名以上が中心となり、これに地元の人たちと星槎スタッフが加わる。

FM湘南マジックウェイブは、リスナーの年齢層を絞ったり放送ジャンルを絞ることはしない。番組制作やナビゲーターは大学生や高校生が中心となり、神奈川県西湘地区に限らず日本や世界で起きていること、教育医療福祉からエンターテインメント・アニメ・アイドルまで幅広く学生の目線でもらえて放送していく予定。単に各所名店を紹介するのではなく、例えば学生同士のカップルだったら「どこをど

のように歩いてお店にたどり着き、どんな言葉をお互いにかきこむか」という具合にストーリー(妄想?)に番組を構成していく。また、朝と昼は全国の事業所と電話中継でつないでいくので、ぜひ子どもたちの参加を企画してほしい。

のようになっています。現在開局にむけて研修と番組制作を行っている。集まったスタッフは、星槎学園湘南校の生徒をはじめ文教大学・東海大学・関東学院大学・慶応大学・東京工科大学・多摩美術大学・フェリス学院大学の学生30名以上が中心となり、これに地元の人たちと星槎スタッフ



学生スタッフの研修の様子

全国でも聴くことができます

開局までの間は、試験電波が出ている。現在確認できているところでは、大磯町・二宮町・中井町をはじめ、平塚市・寒川町・小田原市東部・秦野市南

部でも聴取が可能。放送がはじまって暫くすると、インターネットのサイマル放送で全国で聴取可能になる。
※インターネットのサイマル放送は、FM湘南マジックウェイブのホームページの「FMラジオ」をクリックすると聴取可能です。(FM放送局)

傷害予防とパフォーマンス向上

オピニオン

健康運動指導士

ZSCA-CPT
(パーソナルトレーナー)

河野 吉喜

私は子どもから高齢者まで、多くの方々の健康づくりや痛みの予防・改善・アスリートのパフォーマンス向上を支える一般的に言う「トレーナー」という仕事をしています。私自身、大学卒業まで陸上競技に打ち込んできた。自己最高記録は大学3年の秋の全国大会での準優勝。しかし、その冬に肉離れを起こし、その後のパフォーマンスは低迷。そ

の後、自己ベストは出せず、全国でも歯が立たなくなりました。たった一つの怪我が勝敗を大きく変えることも少なくない。この記事が、皆さんの手助けになればと思います。傷害予防とパフォーマンス向上についてお話ししたい。

怪我発生の原因には大きく分けて「個体要因」「環境要因」「方法要因」の3つがある。「個体要因」とは筋力や柔軟性といった個人の体の状態が原因によるもの。「環境要因」とは使用している靴や道具、グラウンドの凹凸などが原因によるもの。「方法要因」とは行なっている手法などが原因によるもの。このことを言う。こ

のように怪我の発生には色々な要因が関係しているが、多くの怪我は「個体要因」が原因であり、個人のコンディショニングやトレーニングで防ぐことができる。つまり、多くの怪我は低い筋力や柔軟性が関係していると言っても過言ではないのだ。特に、急激に身長が伸びる成長期では柔軟性が低下し、それが踵が痛くなる踵骨骨端症(しょうこつこ)や膝が痛くなるオスグット病を発症する1つの要因ともなり得る。他にも成長期に発生しやすい傷害に疲労骨折などがある。また、足関節捻挫や腰痛症などは、多くの人が発生しや

すい傷害とされている。これらの傷害は患部周辺の筋力・柔軟性向上が極めて大切だ。傷害の予防・改善方法の一つの方法として「体幹トレーニング」がある。最も一般的な体幹トレーニングとしては、肘から腕とつま先をつく姿勢のプランク(エルボトウやフットブリッジなど)と呼ばれる。体幹トレーニングは足関節捻挫や腰痛、膝の前十字靭帯断裂、肩の傷害の予防やリハビリなどに有効である。また、体幹トレーニングによって垂直跳び能力の向上や5000mといった長距離走のタイムの向上といった様々なパフォーマンスが向上することが国内外で報告されている。私自身の研究

では、中学生の女子生徒で、体幹機能が低い生徒は、高い生徒と比べ保健室の利用頻度が1.8倍になるという結果がでている。これらのことから定期的な運動の有無に関わらず、高い体幹機能の保持が大切であるということが明らか。そして、アスリートにとっては、今以上の結果を得るためには今以上に質が高く、強度の高い練習を行う必要がある。しかし、痛みを抱えては質の高い練習が行えないのは運動部も文化部も同じ。継続して高い質の練習を行うために体幹トレーニングを今日からでも取り入れてみてほしい。必ず結果が変わるはずだ。(継続は力なり)。

その工藤さんが、競技パフォーマンスと出会うきっかけを作ったのが、勝村だ。もともとは生徒主体の企画授業がスタート。そこで特別コーチを行った。その授業が部活動に

ボウリングは誰もが楽しめるレジャーとして定着しているが、アジア大会や国体(国民体育大会)で競技が実施されるスポーツでもある。男子プロボウラーのトップランキン選手のアベレージは235点(300点満点中)。トッププロといえども8割を切る得点なのである。そのプロの世界で生きる工藤貴志さん(42期)は、宮澤学園(現星槎学園)出身。今季優勝も果たしている。

ブーム世代。家族でボウリングに出かけるのが楽しかった。部活動の1期生が工藤さんだ。勝村の指導の基本は、「好きこそもの上手なれ」。まずは、生徒を決まった形に押し込むのではなく、楽しんで取り組むこと。それゆえ、部活を辞める生徒はほとんどいない。現在もボウリング部は週4日の活動を続けている。

星槎 教師 列伝

星槎中学高等学校 勝村 茂 教諭



大学に入ってからは目覚ましい活躍。2年次には新人戦準優勝。3年次には、日本ユース代表のキャプテンとしてアジアユース選手権に出場し3位になる。ボウリングも技術を支えるのは体力である。日本代表の合宿では、毎日10kmの走り込みをした。社会人となってからも東京都実業団選手権大会で優勝した他、関東リーグではパーフェクトゲーム(300点)を達成する。そんな勝村のボウリングとの関わりは、第一歩は楽しさである。ボウリングの持つ素晴らしさがある。(文中敬称略)

ニュース速報

ブータンオリンピック委員会(BOC)会長 ジゲル・ウゲン・ワンチュク 王子殿下が来日

BOC、神奈川県、小田原市、大磯町、箱根町、星槎グループの6者で、2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ協定の調印を行う予定。それに伴う会見や式典も行う。詳細は次号。

女子バレー部 私学全国大会 グループリーグで惜敗

3月22日23日、稲城市で開催された第22回全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会に出場。5チームでの予選(Dリーグ)で2勝2敗。惜しくも予選敗退となった。Dリーグからは盛岡成桜高校が決勝トーナメントに進出した。詳細は次号。

星槎大学 村上和基さん 飛込で水泳世界選手権出場

2月に開催された飛込国際大会派遣選手選考会で優勝。7月にハンガリーで開催される第17回世界水泳選手権大会に男女混合シンクロナイズドスイミングに出場する。

ハワイ カハカイ小学校児童が来日

3月17日~22日までの6日間、ハワイ州立カハカイ小学校の児童6名、教職員6名が来日。星槎中学校をはじめとする星槎の子どもたちとの交流の他、日本の文化を学ぶために観光等をした。カハカイ小学校は、サイパンにある星槎の姉妹校マリアナ高校の元校長であるジェームス・ディナイトさんが校長を務められている。詳細は次号。

読むスポーツ

第8回 『走れ! T校バスケット部』 松崎 洋 著 (幻冬舎文庫)

セイスポ

女子サッカー 県新人戦初優勝!

勝利 全員で勝ち取った



準決勝出場メンバーで集合写真

新人戦初優勝

2月11日(土)、湘南学院にて第23回神奈川県高校女子サッカー新人大会の決勝が実施され、星槎国際高校湘南学習センター女子サッカー部が初優勝した(19チーム)。強豪校の湘南学院を相手に1対0で勝利。前半は0対0だったが、後半は前半と大きく変わり主導権を握ることができ1点を決めて新人戦では初めての優勝を収めた。

(編集部 澤地美佳)

VOICE

柄澤 俊介監督

今大会で一番の成果は登録選手全員が出場し、優勝できたこと。昨年の公式戦に一度も出場できなかった選手も躍動し、勝利に貢献してくれた。今後は一年生も合流し、さらに熾烈なレギュラー争いとなると思うが勇往邁進してほしい。

平田 涼コーチ

創部初の新人戦優勝という場面に立ち会えて、選手に感謝している。GKコーチとしては、全試合無失点、決勝においては前後半違うGKの選手で勝てたことが嬉しい。たくさんの応援ありがとうございました。

宮澤 ひなたさん(3年)キャプテン

新チームとしての初めての大会で優勝という結果で終われたことはよかった。しかし、シュートを決めきるところや球際が弱いところ、パスの質が低いところなどたくさん課題が残る試合だった。優勝できたことは嬉しかったが、自分たちの目標はもっと上を目指しているのも、自分たちがしくこれからは頑張る地域に応援され愛されるチームを作っていく。



接戦を繰り広げる宮澤ひなた選手

江原 奏音さん(3年)副キャプテン

初優勝を飾れたことは良かったが、決勝では試合終盤で相手のプレッシャーに焦ってしまうなど、精神面での弱さが見えた。今後は新生も加え、最後まで主導権を握るサッカーが出来るよう、心技体ともにレベルアップを図っていききたい。

浜田 帆珠弥さん(3年)副キャプテン

私たちには最後の新人戦だったので私は全試合すべて点を決めてチームに貢献したいという思いでやった。最後の試合は出場できなかったが、チームが優勝できて本当に良かった。自分の声でもっとチームを引っ張って、もっとチームをよくして次の公式戦でも優勝したい。

加藤 ももさん(2年)副キャプテン

創部初の優勝を果たすことができた。初戦から全体的に1つ1つのパス、トラップと技術的な部分でミスが多く、点を決めきれないことが課題が残ったので、辛い時こそ質にこだわりの関わりを増やして練習していきたい。春からインターハイがありますチーム一丸となって戦いたい。

お詫び

前号でご紹介した末續慎吾さんのご役職に誤りがありました。正しくは、星槎大学特任准教授となります。未續さんをはじめ、読者の皆様へご迷惑をおかけしました。訂正してお詫び申し上げます。

星槎道都大 原選手 優勝!



原選手

滋野選手

ブータン国際マラソン

3月4日、ブータン王国のプナカ校外で第4回ブータン国際マラソンが開催された。ハーフマラソンに、星槎道都大学陸上部の原由幸選手(経営学科4年)、滋野聖也選手(経営学科3年)が参加した。結果は、原選手が1時間9分11秒で優勝(148名出走)。滋野選手も1時間11分53秒で準優勝した。

この大会の収益は全て、ブータンの若い選手のサポートのために使われる。原選手、滋野選手は賞金をブータンオリンピック委員会に寄付をした。

VOICE

原由幸選手

初めての海外でのレースで優勝でき、良い経験ができた。機会があれば今度はフルマラソンの部に挑戦したい。

滋野聖也選手

海外レースという貴重な経験ができた。調整練習をしたティンプーは高地合宿にも利用できる感じた。

International Marathon



表彰式後。左から2人目原選手、3人目滋野選手

プナカは、ジグミ・ケサルナムゲル・ワンチュク国王が挙式をされたことでも知られるブータンの古都。標高は約1350m。高地でのレースだった。原選手は2月26日の東京マラソン、滋野選手は2月25日のクロカン日本選手権を終えてすぐブータンへ移動。首都ティンプーでの高地順応トレーニングを経

女子サッカー部 宮澤ひなたさん

U-19 女子 日本代表候補に選出

ドフィールダーとしての招集だったが、今回は星槎でのポジション、フォワードとしての招集となる。